

「手立て一覧表」の中で、分かりづらいと思われる手立てについて、事例を紹介します。

A

見通す

ステップ②へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

g 児童と一緒に学習計画を立てることで、学習のゴールまでのプロセスのイメージをつかめるようにする。

(例) 教師が提案した大まかな計画に対し、それぞれの活動が何時間必要かを考えさせる場合

活動	時間
クイズ大会をしよう	12
クイズ大会をしよう	11
クイズ大会をしよう	10
クイズ大会をしよう	9
クイズ大会をしよう	8
クイズ大会をしよう	7
クイズ大会をしよう	6
クイズ大会をしよう	5
クイズ大会をしよう	4
クイズ大会をしよう	3
クイズ大会をしよう	2
クイズ大会をしよう	1

教師が提案した学習計画



先生は、学習計画をこのように立ててみました。本で調べる活動は、何時間くらい必要だと思いますか。



2時間あれば、できると思います。

そうだね。前の調べ学習も2時間でできたね。



g 児童と一緒に学習計画を立てることで、学習のゴールまでのプロセスのイメージをつかめようにする。

(例) 学習のゴールに近づく(課題を解決する)ために、どのようなことができるようになるべきかを考えさせる場合(話すこと・聞くこと)



みんなで「上手に話し合うコツ」をさがって、「グループ会議の達人」になる学習をします。どのような勉強をしていけばいいと思いますか。

どのような「コツ」があるか、みんなで考えます。



では、この4つで学習計画を立てていいですか。

本番のグループ会議の前に、練習をしたいです。



①話し合いのコツをさがる

②話し合いの練習

③話し合いの本番

④振り返り

さらに、授業を進める中で学習計画を見直す場合もあります。



(「①話し合いのコツをさがる」学習時)

上手な話し合いをするためのコツを見付けましょう。

教科書に掲載されている、話し合いのモデルと、**改善の余地が残る話し合いの例**とを対比的に提示

- ・理由を付けずに考えを話す
- ・分からないことがあってもそのまま
- ・似た意見をたくさん挙げる

きちんと理由を付けて話すと、考えていることが相手に伝わります。



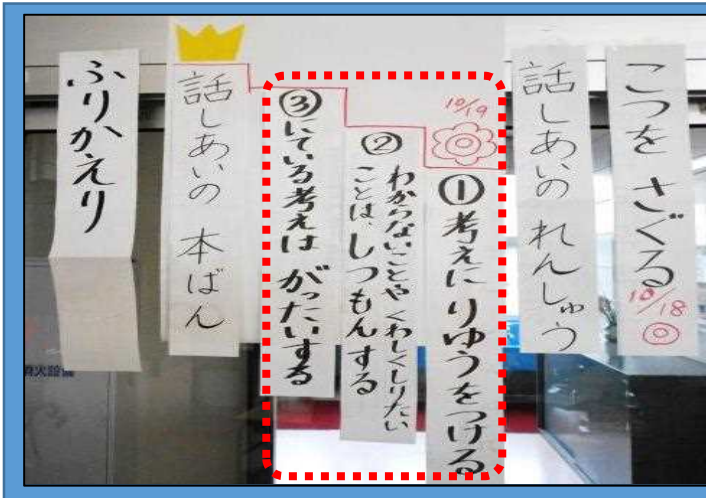
分からないときは、質問をすると教えてもらえます。



似ている意見は1つにまとめると、すっきりします。



では、学習計画「②話し合いの練習」のとき、どのようなことができるように練習をすればいいのでしょうか。



児童と共に見直した学習計画 (部)

h 児童が行う（作成する）言語活動のモデルを教師が示すことで、児童の「あなりたい」「こうしたい」という願いや思いを引き出す。



昨日、動物についての図鑑を読んでいた、すごいなと思ったことがありました。みんなにも教えたくてクイズにしてみましたので、聞いてください。

（モデルの問題部分のみを提示）

「ウサギの耳は、どうして長いのでしょうか」。

自分ねらっているてきがないか、小さい音まで聞きのがさないレーダーのようなはたらきをするためです。また、体の中の熱を外にたくさんにがすためでもあります。

こたえ

うさぎの耳は、どうして長いのでしょうか。

もんだい

（うさぎ）すごいクイズ！

遠くの音も、聞こえるように…かな？



児童が作成する言語活動のモデル
（クイズの問題と答え）



答えを言います（モデルの答え部分のみを提示）。

「自分をねらっているてきがないか、小さい音まで聞きのがさないレーダーのようなはたらきをするためです。また、体の中の熱を外にたくさんにがすためでもあります」。

そうだったんだ。知らないことを知ることができて嬉しい。私も、ほかの動物のすごいところを見付けて、先生のようなクイズを発表したいな。



A 見通す

ステップ③へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

- f 学習課題で、何をどのようにすれば、どのような力が身に付くのかを児童と共通理解しておくことで、学習への目的や必要性を実感できるようにする。



学習課題は、明解な「指導事項 (A)」、「具体的な「思考操作 (B)」、価値ある「言語活動 (C)」の 3 つのフレーズを組み合わせて設定します。下の 2 つの例は、佐賀大学教育学部の達富洋二先生に教えていただきました。

(例)「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書 3 年)で学習課題を立てる場合

- (A : 指導事項) 場面の移り変わりを捉える。
 (B : 思考操作) 場面ごとの出来事を選んで比べる。
 (C : 言語活動) 「あのとき・このとき 感想」カードに書く。

学習課題

この単元では、場面の移り変わりについて学習します。
 実際には、「あのとき・このとき 感想」カードを書きます。
 書くときは、「あのとき」と「このとき」の出来事を選んで比べるようにします。

(例)「すがたをかえる大豆」(東京書籍 3 年)で学習課題を立てる場合

- (A : 指導事項) 目的を意識して、中心となる語や文を見付ける。
 (B : 思考操作) 段落ごとになくてはならない言葉や文を選ぶ。
 (C : 言語活動) 「すがたをかえた大豆の説明文」を書く。

学習課題

〈1文で示すパターン〉

- (A) 説明の中心となる言葉や文を、
 (B) 段落ごとになくてはならないかどうか選んで、
 (C) 「すがたをかえた大豆の説明文」を書きます。

学習課題

〈2文で示すパターン〉

- (A) この単元では、説明の中心となる言葉や文を見付ける学習をします。
 (B) 段落ごとになくてはならない言葉や文を選んで、
 (C) 「すがたをかえた大豆の説明文」を書きます。

学習課題

〈3文で示すパターン〉

- (A) この単元では、説明の中心となる言葉や文を見付ける学習をします。
 (C) 実際には、「すがたをかえた大豆の説明文」を書きます。
 (B) そのとき、段落ごとになくてはならない言葉や文を選びます。

※学習課題の文量が多い場合は、2文、3文と分けて示すパターンが考えられます。

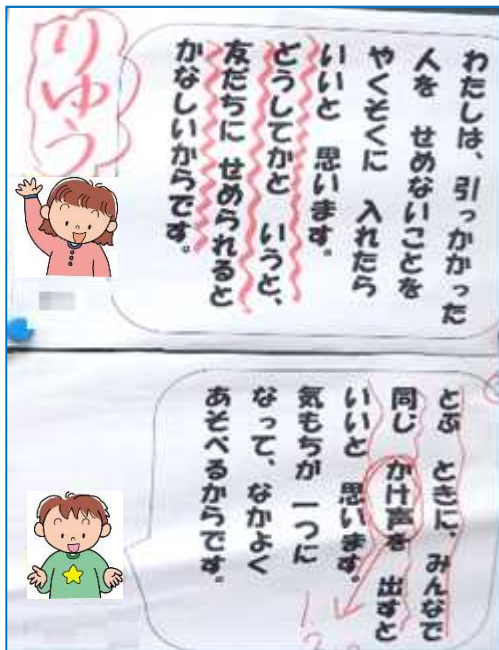
h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

(例) 児童がつまずきそうな場面をあえて示すことで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（話すこと・聞くこと）

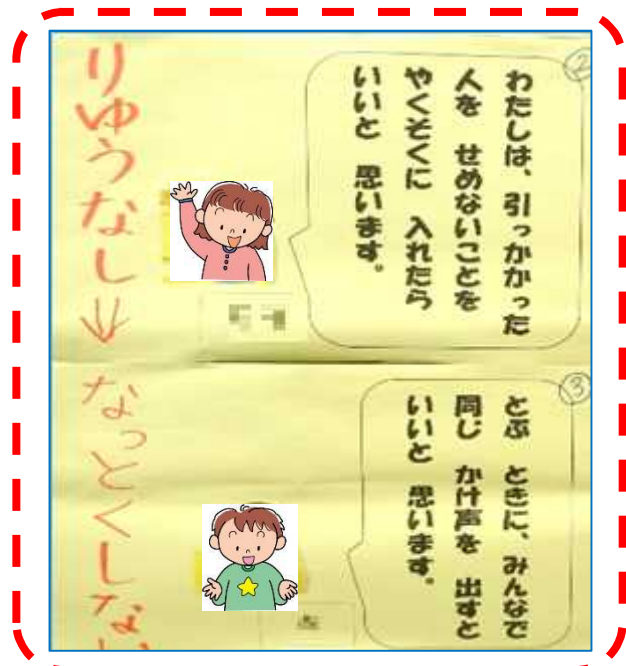
予想されるつまずきを含む、改善の余地が残る例を教師が自作します。教科書などの良質なモデルと比較させることで、児童が身に付けるべき力に気付けるようにします。

「理由を付けて話す」という指導事項に気付かせたい！

でも、実際の児童はきっと・・・。



教科書に掲載された話し方のモデル



児童がつまずくであろう話し方の例（教師自作）



きちんと理由を付けて話すと、考えていることが相手に伝わって便利だな。こんなふうに、理由を付けて話したいな。

h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

(例) 気付かせたいよさが複数あるモデルを提示することで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（話すこと・聞くこと）

よさごとに教師がモデルを作成します。モデルを比較することで、それぞれのよさに気付かせることができると考えます。下の写真は、宝物を紹介するスピーチ原稿のモデルです。

〈教師自作のモデル①のよさ〉

- ・手触り（五感）
- ・気に入っているところ、理由

野球のグローブを紹介したいから
ごわごわした手触りに加えて、新品のにおいについても書けそうだな。

おわり

このユニフォームをきて、またサッカーがしたいです。そのときはおうえんしてください。

中

先生のたからものは、このサッカーのユニフォームです。

〈先生の手本①〉

ユニフォームの色はオレンジ色で、ばんごうは、ハバンです。チームのみんななで色や形をきめて、えらびました。さわるとつるつるして気持ちがいいです。

気に入っているところは、おねについている四つばマークです。いいプレイができるようにと、ねがいをこめてつけました。おかげで、いいプレイがたくさんできて、しあいでかつて、友だちと楽しくサッカーができました。

ユニフォームの色はオレンジ色で、みどりのもようといっしょに見ると、まるで、みかんのようです。ばんごうは、ハバンです。

〈先生の手本②〉

たからものどのおいしは、このユニフォームをはじめてきたときのしあいです。チームのみんなできてみると、心が一つになった気がして、しあへのやる気がぐんぐん出ました。おかげで、友だちと楽しくサッカーができました。

はじめ

〈教師自作のモデル②のよさ〉

- ・「まるで～のよう」という比喻表現
- ・エピソード

宝物のハンカチは、転校した友達からもらった物だというエピソードを入れよう。

h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

(例) 児童の実態に応じ、教科書のモデルより簡単なモデルを提示することで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（書くこと）

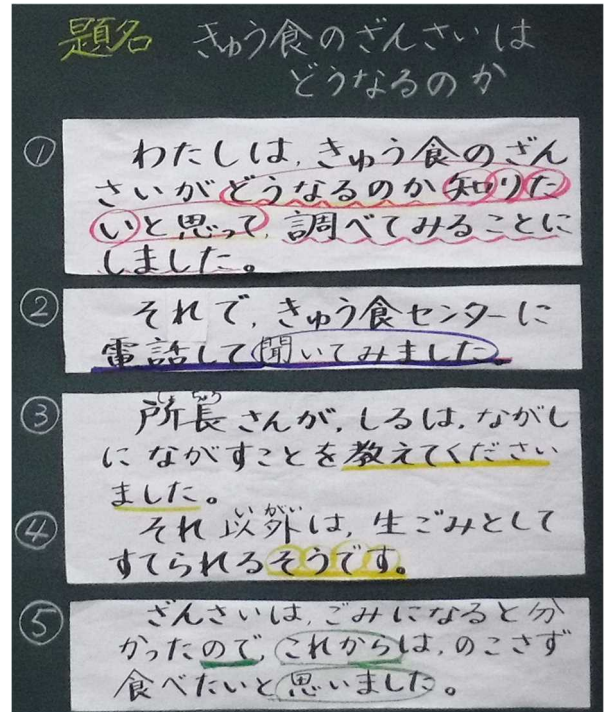


教科書のモデル文では、難しく感じる児童がいるだろうな。児童にとって、より身近な話題で、簡潔なモデル文を自作してみよう！

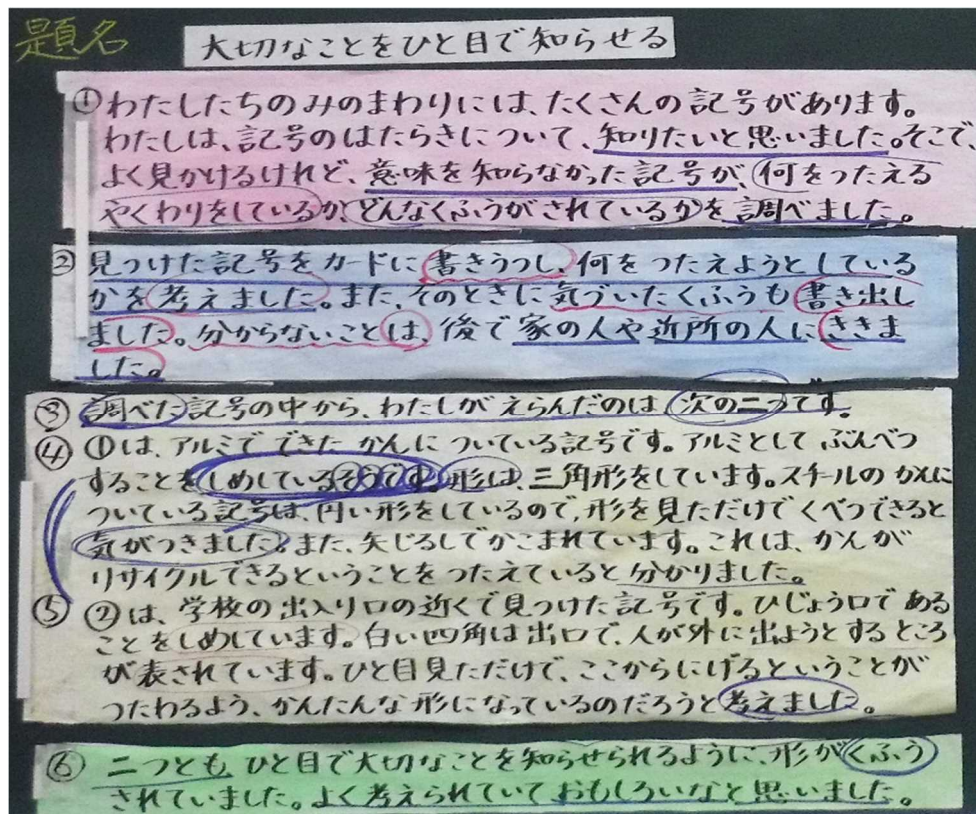
教師自作のモデル文を用いて、4つの構成の順序・意義について理解させた後、確認として教科書のモデル文を用いると効果的です。



あ！教科書でも、同じように4つの構成に分かれているよ！



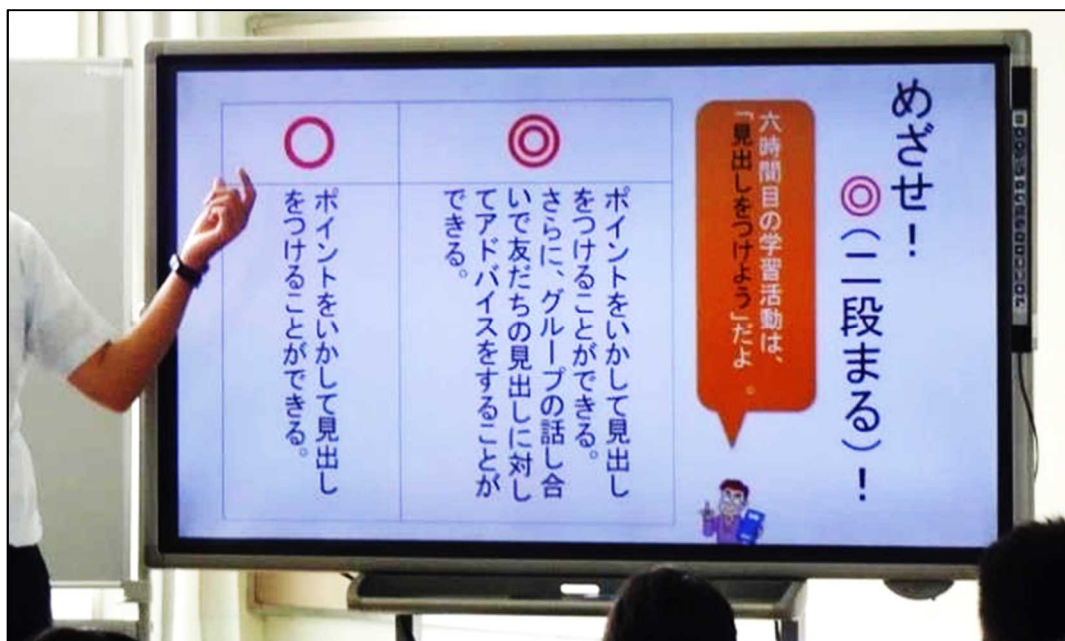
教師自作のモデル文



教科書に掲載されているモデル文

j 到達基準を提示することで、児童が目的意識や意欲を持続できるようにする。

本時のめあてを提示した後、具体的な到達基準を児童に示します。これにより、児童は授業を振り返る際、明確な根拠をもって自己評価をすることができると考えます。



〈本時の振り返り〉（児童の記述例）



今日は、記事の見出しを考えました。思いや伝えたいこと、記事の話題を入れて見出しを書きました。友達にアドバイスを言うこともできたので、「◎」です。

到達基準を設定するということは、指導すべきゴールが明確になるという点で、教師にとっても有意義だと考えます。

この到達基準だと、話し合いでアドバイスをするとき、多くの児童がつまずきそう…。話し合いが円滑に進むための手立ても取り入れよう！



到達基準を設定する際のポイント ～△・○・◎の3段階評価の場合～

- ・「○」となる児童の姿は、本時の目標（本時の評価規準B）に対応させて設定します。児童全員が達成できることを目指して、更なる手立ての具体を検討します。
- ・「◎」となる児童の姿を設定する際は、新学習指導要領解説の「各学年の内容」に多くのヒントが示されています。指導上、重要となる点などを踏まえて設定します。

A 見通す

既にステップ③である方に、提案する手立て(例)

i 児童の学習履歴や単元の特徴に応じて学習過程に軽重を付けることで、指導事項の習得を促す。

〈一般的な学習過程（書くこと）〉

学習過程	時	主な学習活動
一次（つかむ）	1	○2種類のモデル文を読み、段落の工夫を考え、学習課題を設定する。 ○学習課題を受けて、おおまかな学習計画を立てる。
	2	○学級の友達に一番伝えたいことを考える。
二次（深める）	3	○出来事を思い出したり、取材したりして、思い出メモを作る。
	4	○構成を意識してメモを並べ替える。
	5	○書き出しの工夫を考える。
	6	○メモを基に作文を書く。
	7	○書いた作文を推敲する。
三次（まとめる）	8	○作文を読み合い、感想交流を行う。

意見文を書く単元の単元計画（例）です。意見に説得力をもたせるために、根拠となる情報を本などから調べたり、友達と意見交流をしたりする過程に重きを置きます。

〈「題材の設定、情報の収集、内容の検討」、

「考えの形成、記述」に重きを置いた学習過程〉

学習過程	時	主な学習活動
一次（つかむ）	1	○モデル文を読み、意見文の構成の工夫を考え、学習課題を設定する。
	2	○学習課題を受けて、おおまかな学習計画を立てる。
二次（深める）	3	○自分はどのような未来にしたいかを考え、テーマを決定する。
	4	○自分の意見の根拠となる情報を、本などから調べる。
	5	○グループで意見を聞き合って、考えを深める。
	6	○予想される反論や、それに対する考えを書く。
	7	○付箋を並べ替えて、意見文の構成表を作成する。
	8	○構成表をグループの友達と紹介し合い、必要に応じて修正する。
	9	○付箋を並べ替えて、意見文の構成表を作成する。
	10	○構成表をグループの友達と紹介し合い、必要に応じて修正する。
	11	○書いた意見文を推敲する。
	12	○意見文を読み合い、感想交流を行う。

(例) 重点指導事項が「推敲」である場合（書くこと）

推敲する文章は必ずしも自分が書いたものでなくても構いません。児童が書いた文章が必ずしも「推敲することを学ぶための効果的な材料」とは限らないからです。推敲の力を育成するためには、児童の傾向を観察し、推敲することに効果的で適切な文章を教師が提供することがあっていいわけです。（佐賀大学教育学部 達富 洋二先生による）



「手立て一覧表」の中で、分かりづらいと思われる手立てについて、事例を紹介します。

B

自ら考える

ステップ②へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

k 児童によって解釈が分かれる発問をすることで、根拠や理由を考えることができるようにする。



叙述を根拠とする

「ごんぎつね」のごんは、最後の場面でどのような気持ちだったと思いますか。
本文の言葉を使って、その理由も教えてください。

悔しかったと思うな。「兵十のかげぼうしをふみふみ」という言葉から、ごんは、兵十と仲良くなりたいと思っていたのが分かる。それなのに、「火なわじゅう」で打たれるなんて、悔しいはずだよ。



そうかな。僕は、満足だったと思う。だって、くりや松たけを渡していることを兵十に気付いてもらえず、「へえ、これはつまらないな」「おれは、引き合わないなあ」と言っていたでしょう。分かってもらえて嬉しかったと思うよ。

児童が考えを広げたり、深めたりするために、交流する相手に変化をもたせることも有効です。

〈例〉

- ・①同じ考えの友達と → ②異なる考えの友達と
- ・①同じ叙述を根拠とする友達と → ②異なる叙述を根拠とする友達と

l 学習する内容や相手等について、児童が自ら決めたり選んだりする場を設けることで、積極性につなげる。



「理由を付けて話す」「分からないことには質問をする」、「似た考えは1つにまとめる」という3つの技を使って、バス旅行での決まりについて、話し合いをします。それぞれの技の練習で、どの決まりについて話し合うといいですか。

- バスの中で行うあそび
- 工場見学のときのやくそく
- グループのめあて

・
・
・

グループで話し合う内容
(バス旅行での決まり)



「似た考えは1つにまとめる」技は、「バスの中で行うあそび」について話し合う練習にぴったりだと思うな。

なるほど。確かに、みんなで遊ぶときは、いつも似たようなルールでもめて、困っているよね。

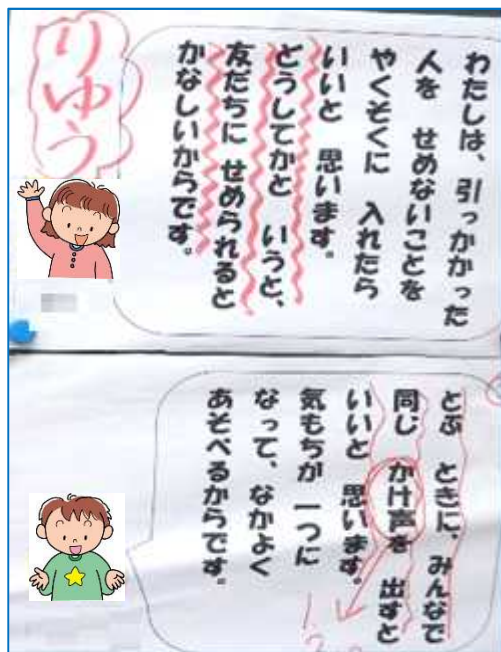


h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

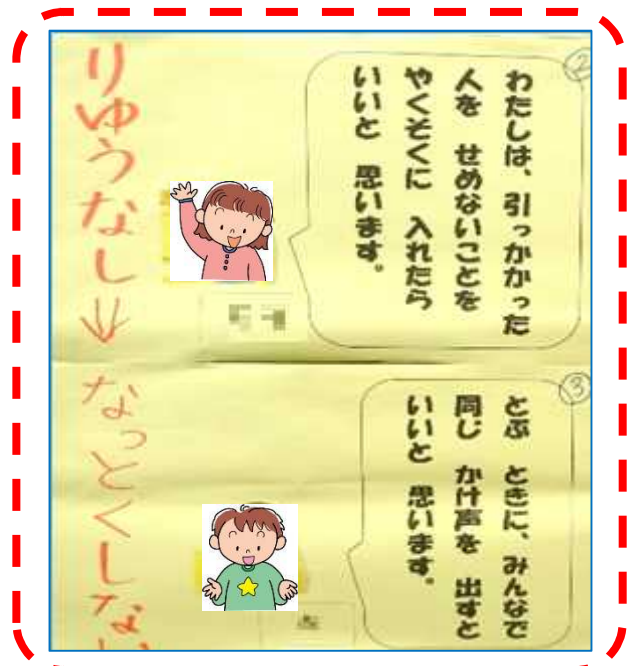
(例) 児童がつまずきそうな場面をあえて示すことで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（話すこと・聞くこと）

予想されるつまずきを含む、改善の余地が残る例を教師が自作します。教科書などの良質なモデルと比較させることで、児童が身に付けるべき力に気付けるようにします。

「理由を付けて話す」という指導事項に気付かせたい！
でも、実際の児童はきっと・・・。



教科書に掲載された話し方のモデル



児童がつまずくであろう話し方の例（教師自作）



きちんと理由を付けて話すと、考えていることが相手に伝わって便利だな。こんなふうに、理由を付けて話したいな。

h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

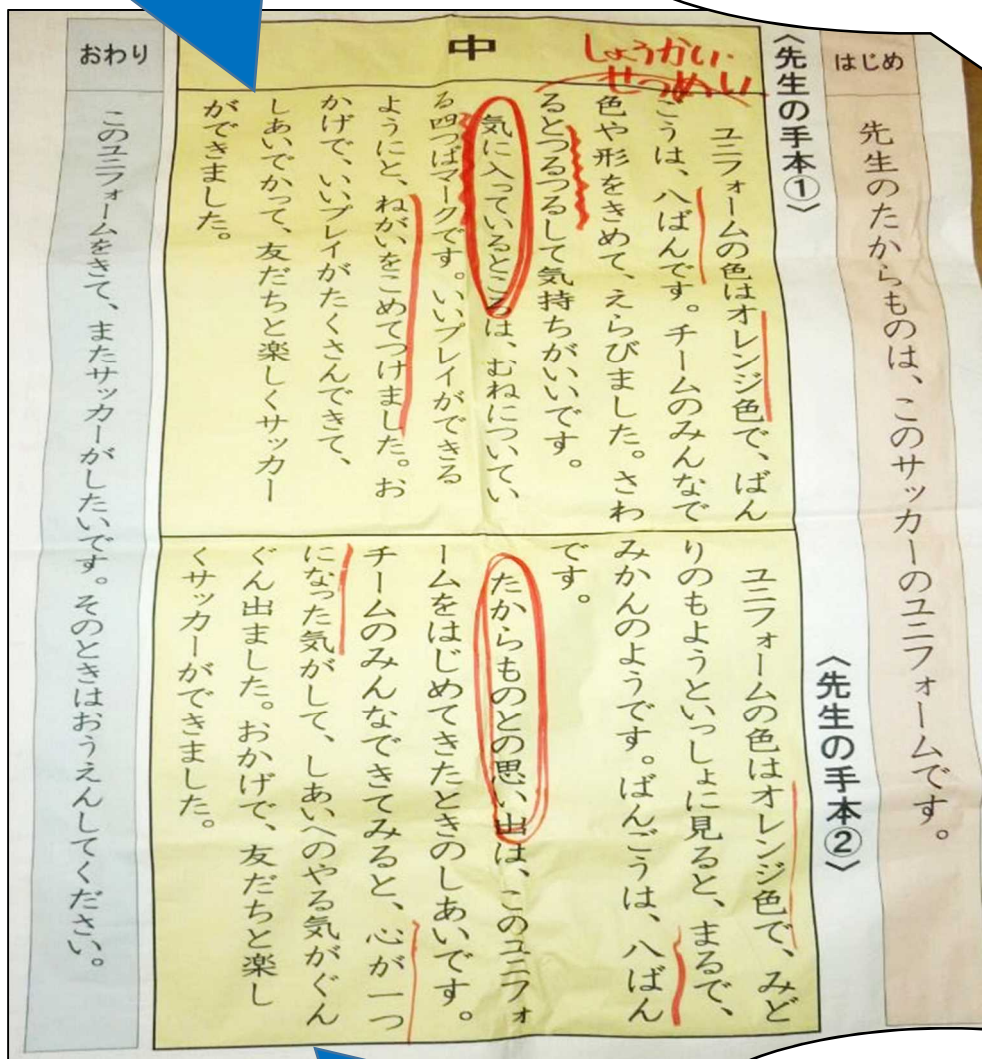
(例) 気付かせたいよさが複数あるモデルを提示することで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（話すこと・聞くこと）

よさごとに教師がモデルを作成します。モデルを比較することで、それぞれのよさに気付かせることができると考えます。下の写真は、宝物を紹介するスピーチ原稿のモデルです。

〈教師自作のモデル①のよさ〉

- ・手触り（五感）
- ・気に入っているところ、理由

野球のグローブを紹介したいから
ごわごわした手触りに加えて、新品のにおいについても書けそうだな。



〈教師自作のモデル②のよさ〉

- ・「まるで～のよう」という比喻表現
- ・エピソード

宝物のハンカチは、転校した
友達からもらった物だとい
うエピソードを入れよう。

h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

(例) 児童の実態に応じ、教科書のモデルより簡単なモデルを提示することで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（書くこと）

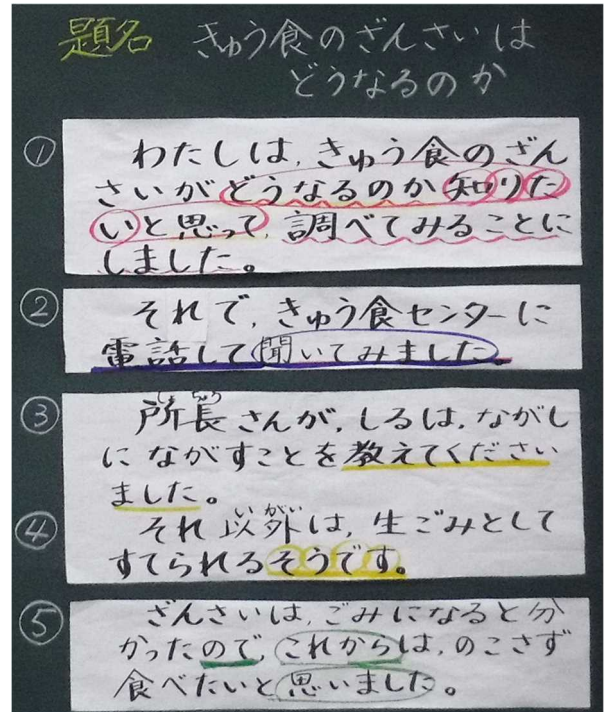


教科書のモデル文では、難しく感じる児童がいるだろうな。児童にとって、より身近な話題で、簡潔なモデル文を自作してみよう！

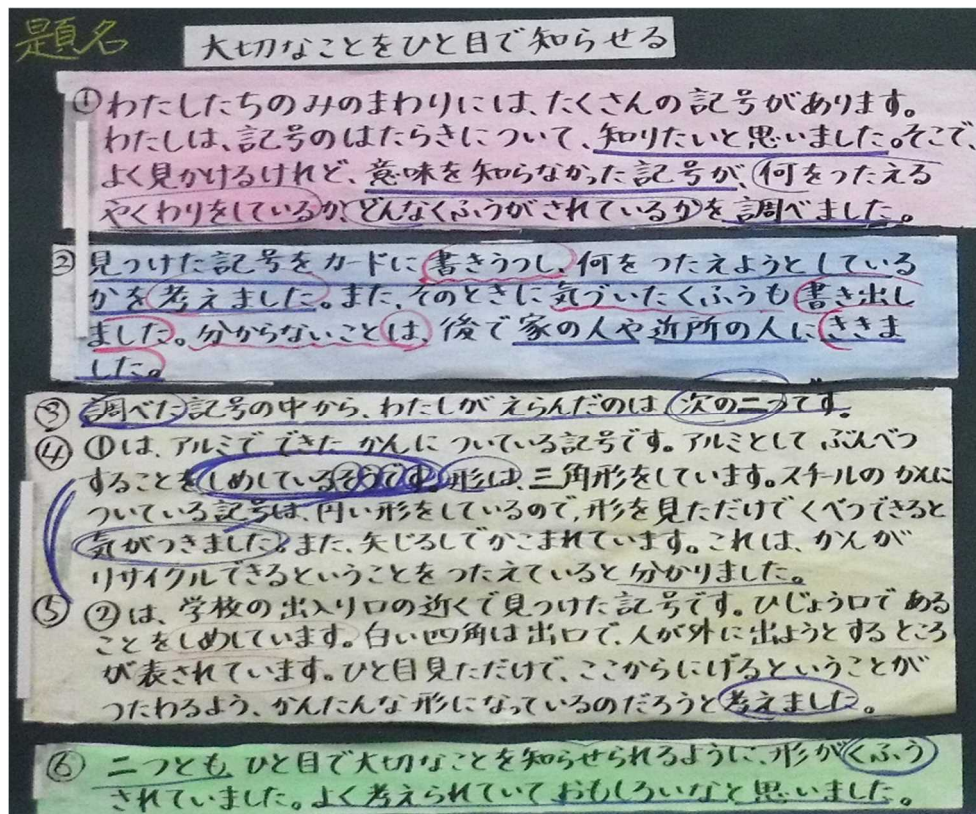
教師自作のモデル文を用いて、4つの構成の順序・意義について理解させた後、確認として教科書のモデル文を用いると効果的です。



あ！教科書でも、同じように4つの構成に分かれているよ！



教師自作のモデル文



教科書に掲載されているモデル文

n 板書やワークシートを工夫することで、考えを整理できるようにする。

（例）板書を工夫する場合（読むこと）（「ビーバーの大工事」）

※掲示されている写真は、著作権に配慮して画像処理を施しています。

教科書に掲載されている写真

児童に配付するワークシートと同様の書式を拡大掲示

下の写真（ダム）と対応する配置で撮影されたビーバーの巣

読み取った文章の理解を深めるために、教科書の言葉と対応させながら、児童が実際に操作して完成させたダムの模型

考える際の手掛かりとなるキーワードをカード化して貼付

児童になじみの薄いと思われるダム（人工物）の写真

木のとがった方を「さしこ」むんだね。どう動かすのかな。

次に、小枝を「つみ上げ」るよ。たくさんの小枝を、上に重ねていくんだね。



その後、木と小枝の「上から石でおもしをして」…。だから、「水をせき止めるりっぱなダム」になるんだね。

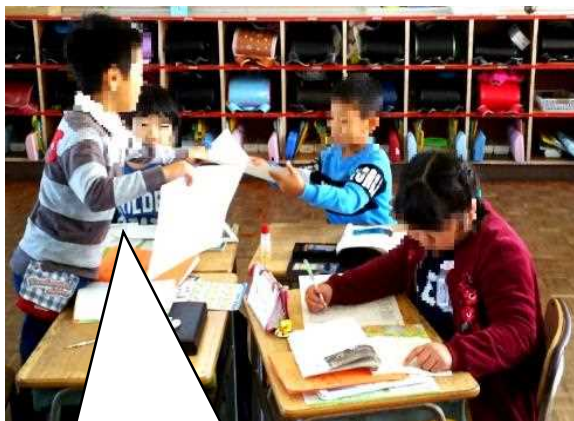
B 自ら考える

ステップ③へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

h' (モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする) の具体例は、「ステップ②へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)」に挙げています。

- o** 学習成果を中間発表として他者に披露させることで、互いのよさに気付けるようにする。

(例) タブレットPCを用いて、自分たちの発表のよさに気付かせる場合



「問題」と「答え」がきちんと合っていて、「です・ます」の丁寧な言葉も使っているよ。答えをもう少し詳しく書けるといいね。



タブレットPC

しっかり相手を見てクイズを出すことができているね。声の大きさもちょうどいいよ。問題と答えの間はもっと間を取った方がいいよ。

○' 中間発表で他者から質問や助言を受ける場を設定することで、課題の解決に向けた再検討や修正を促す。

(例) 書いた文章を推敲する段階で、友達と見せ合う場合 (書くこと)

チェックすること		自分で チェック ○か△	同じ材料の友達 サイン () ○か△	ちがう材料の友達 サイン、 () ○か△
教師が指定したチェック 項目 (新出の指導事項)	① 大事なとーれい (くふう) (調理) (ほう) (食品)	○	○	○
	② つなぎ言葉を使う	○	○	○
	③ 絵と文を合わせて	○	○	○
本人が設定したチェック 項目 (既習の指導事項)	④ 文のあらは、いかに語を書く	○	○	○
	⑤ (くふう) (調理) (ほう) (食品) きかたは、同じくせいを書く	○	○	○
	⑥ だんごのはじめは、つぎ	○	○	○

同じテーマの児童によるチェック

違うテーマの児童によるチェック

「手立て一覧表」の中で、分かりづらいと思われる手立てについて、事例を紹介します。

C

対話する

ステップ②へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

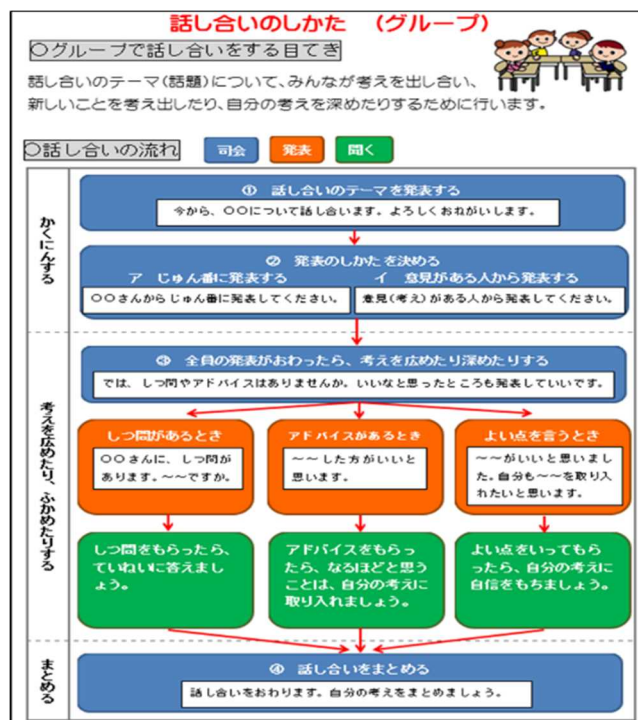
m' もち寄った互いの考えを比較させることで、共通点や相違点に気付けるようにする

(例) 話し合う際の話型を与える場合

この記事は、エピソードを具体的に書いてあるところが、いいなと思いました。ぼくの記事にも付け加えたいと思います。



話型を基にして考えを伝え合う児童



話し合う際の話型(カード)

p' 話し合う際の観点や目的を明確に示すことで、考えの広がりや深まりを促す。

児童とのやり取りで決定した、話し合いの観点(黒板に掲示)

構成表作りのポイント

- (1) 「根拠となる出来事・資料」
 - ・出来事と資料の内容がより合っている付箋を選ぶ。
- (2) 「予想される反論と、それに対する考え」
 - ・反論への考えについて、根拠となる事実を付け加える。

この付箋は、反論に対する考えの根拠になると思うんだけど…どうかな。

「構成表作りのポイント」の(2)に当たるね。

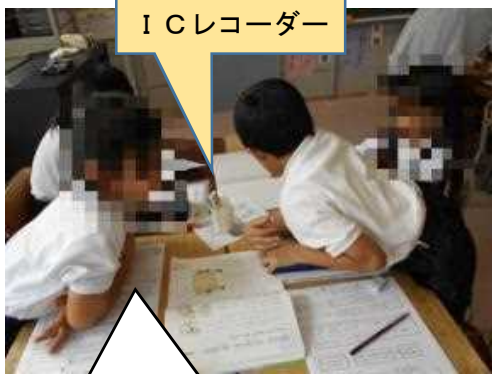


なるほど。付け加えていいと思うよ。その方が、説得力が増しそうだね。

観点に沿って話し合う児童

q ICT 機器を用いることで、自分たちの対話を客観視できるようにする。

(例) ICレコーダーで話を振り返る場合 (話すこと・聞くこと)



質問の仕方は、どうだったかな。聞き直して確かめよう。



〇〇さんは、質問をすることができていたね。

C

対話する

ステップ③へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

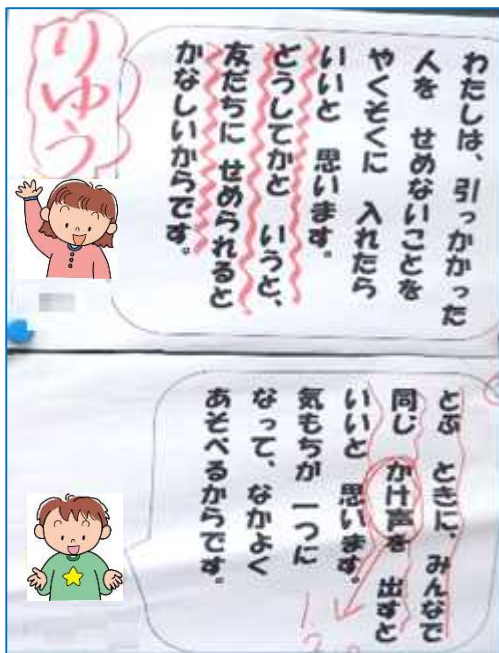
p' (話し合う際の観点や目的を明確に示すことで、考えの広がりや深まりを促す) の具体例は、
「ステップ②へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)」に挙げています。

h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

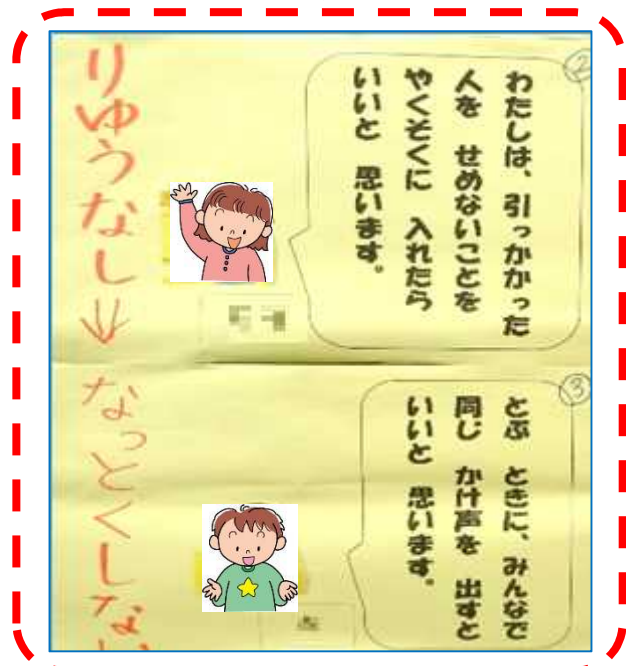
(例) 児童がつまずきそうな場面をあえて示すことで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合(話すこと・聞くこと)

予想されるつまずきを含む、改善の余地が残る例を教師が自作します。教科書などの良質なモデルと比較させることで、児童が身に付けるべき力に気付けるようにします。

「理由を付けて話す」という指導事項に気付かせたい！
でも、実際の児童はきっと……。



教科書に掲載された話し方のモデル



児童がつまずくであろう話し方の例(教師自作)



きちんと理由を付けて話すと、考えていることが相手に伝わって便利だな。こんなふうに、理由を付けて話したいな。

h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

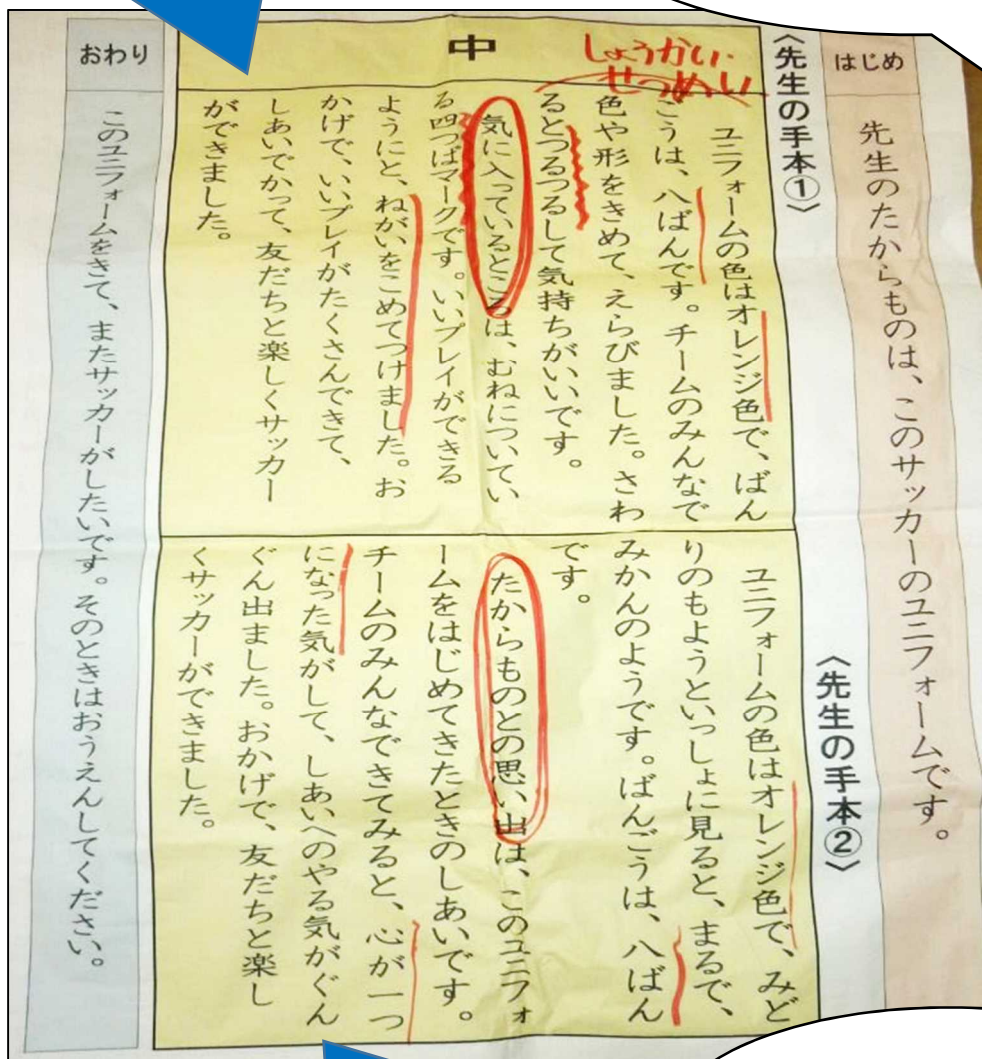
(例) 気付かせたいよさが複数あるモデルを提示することで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（話すこと・聞くこと）

よさごとに教師がモデルを作成します。モデルを比較することで、それぞれのよさに気付かせることができると考えます。下の写真は、宝物を紹介するスピーチ原稿のモデルです。

〈教師自作のモデル①のよさ〉

- ・手触り（五感）
- ・気に入っているところ、理由

野球のグローブを紹介したいから
ごわごわした手触りに加えて、新品のにおいについても書けそうだな。



〈教師自作のモデル②のよさ〉

- ・「まるで～のよう」という比喻表現
- ・エピソード

宝物のハンカチは、転校した
友達からもらった物だとい
うエピソードを入れよう。

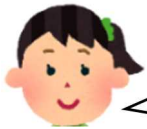
h' モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。

(例) 児童の実態に応じ、教科書のモデルより簡単なモデルを提示することで、身に付けるべき力に気付けるようにする場合（書くこと）

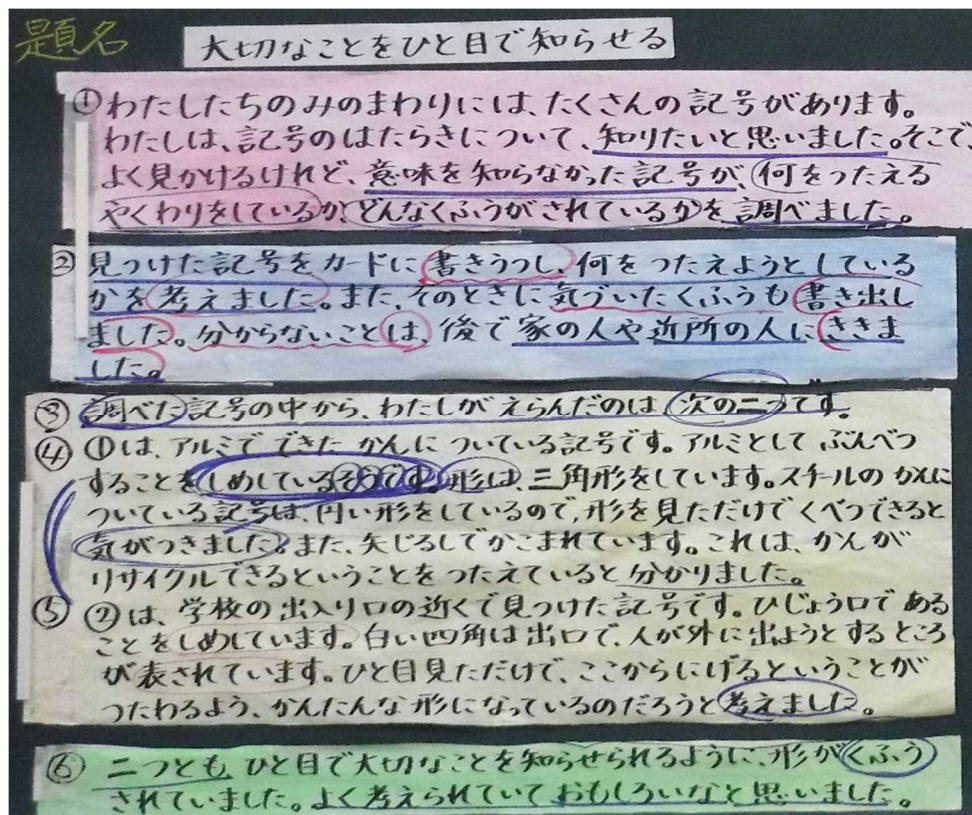
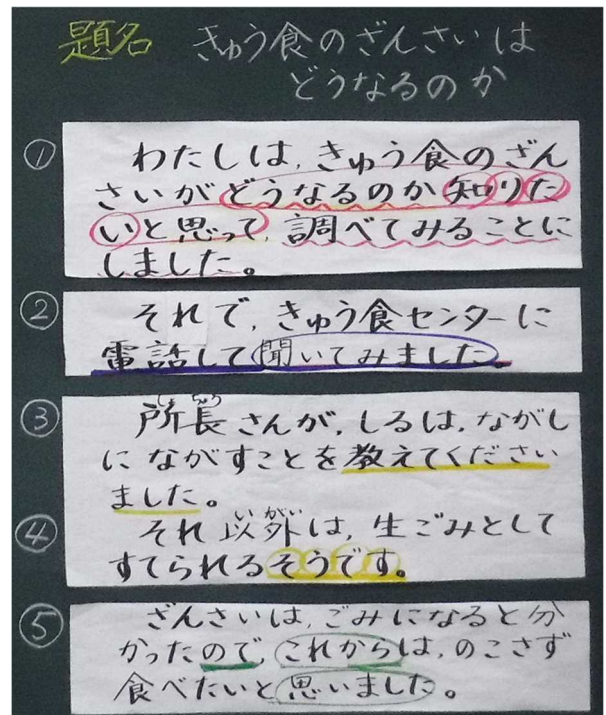


教科書のモデル文では、難しく感じる児童がいるだろうな。児童にとって、より身近な話題で、簡潔なモデル文を自作してみよう！

教師自作のモデル文を用いて、4つの構成の順序・意義について理解させた後、確認として教科書のモデル文を用いると効果的です。



あ！教科書でも、同じように4つの構成に分かれているよ！



- 学習成果を中間発表として他者に披露させることで、互いのよさに気付けるようにする。

(例) タブレットPCを用いて、自分たちの発表のよさに気付かせる場合



「問題」と「答え」がきちんと合っていて、「です・ます」の丁寧な言葉も使っているよ。答えをもう少し詳しくで書けるといいね。



しっかり相手を見てクイズを出すことができているね。声の大きさもちょうどいいよ。問題と答えの間はもっと間を取った方がいいよ。

- ' 中間発表で他者から質問や助言を受ける場を設定することで、課題の解決に向けた再検討や修正を促す。

(例) 書いた文章を推敲する段階で、友達と見せ合う場合（書くこと）

教師が指定したチェック項目（新出の指導事項）

本人が設定したチェック項目（既習の指導事項）

チェックすること		自分でチェック	同じ材料の友達サイン	ちがう材料の友達サイン
		○か△	○か△	○か△
①	大事なとーれい (くふう) (調理) (食品)	○	○	○
②	つなぎ言葉を使う	○	○	○
③	絵と文を合わせて	○	○	○
④	文のあらはにない語で書く	○	○	○
⑤	(くふう) (調理) (食品) きりだまは、同じくせいと書く	○	○	○
⑥	だんごのはじめは、つぎ	○	○	○

同じテーマの児童によるチェック

違うテーマの児童によるチェック

r 互いのよさについて伝え合わせることで、学んだことを客観的に確認させるとともに、次の学習への意欲を喚起する。

(例) 互いの作文に、付箋でよさや感想を書いて伝え合う場合



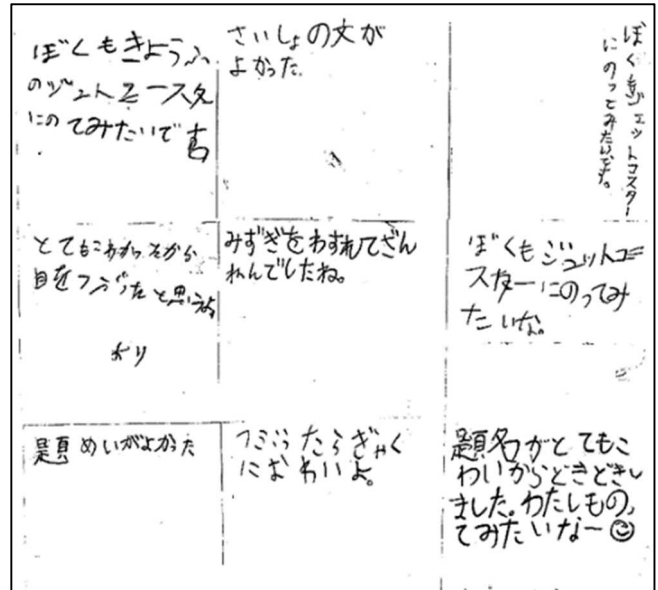
題名がとても怖いから、ドキドキしました。私も乗ってみたいな。



とても怖かったから、目をつぶったんだね。



最初の文が、かぎ（「」）から始まっていていいね。



児童がよさや感想を書いた付箋

「手立て一覧表」の中で、分かりづらいと思われる手立てについて、事例を紹介します。

D 振り返る

ステップ②へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

s キーワード（指導事項等）を用いて学習をまとめることで、学びを確かなものにする。



今日（この単元）は、「〇〇」（指導事項）について学習しましたね。「〇〇」という言葉を使って、振り返りを書きましょう。

この単元では、説得力のある意見文をかいた。
 そのためには自分の考えを調べた情報、反論に
 対する考えなど全ての情報を整理して構成を考
 へることが大切だった。これから文を書くときにいかしたいと思った。

この単元では、説得力のある意見文をかいた。
 そのためには自分の考えを調べた情報、反論に
 対する考えなど全ての情報を整理して構成を考
 へることが大切だった。これから文を書くときにいかしたいと思った。

j' 到達基準を基に学習を振り返らせることで、自分の学びを実感できるようになる。

児童に示した到達基準

◎（十分満足）

見出しを付ける際のポイントを生かして見出しを付けることができる。さらに、グループの話し合いで友達の見出しに対してアドバイスをすることができる。

○（おおむね満足）

見出しを付ける際のポイントを生かして見出しを付けることができる。

児童の自己評価

今日は、記事の見出しを考えました。思いや伝えたいこと、記事の話題を入れて見出しを書きました。友達に伝えるアドバイスも言うことができたので ◎ です。

D

振り返る

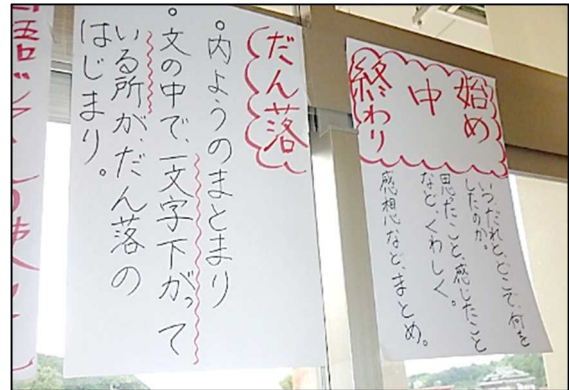
ステップ③へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

- ▼ 習得した知識及び技能、考え方等をカードやファイル等に蓄積させておくことで、次の学習でも活用できるようにする。

(例) 学習したことを模造紙に整理し、掲示する場合

場合

掲示した模造紙は単元後外しますが、後の単元の活用できる場面で、適宜再掲示すると、より効果的です。



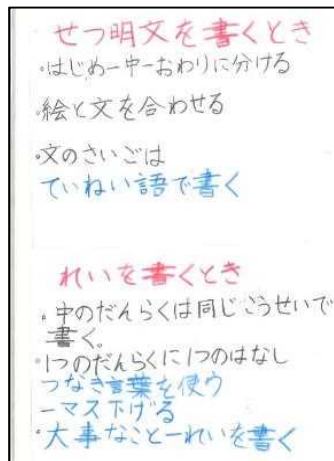
段落の構成に関する掲示物

(例) 学習したことをカード化し、ファイリングする場合

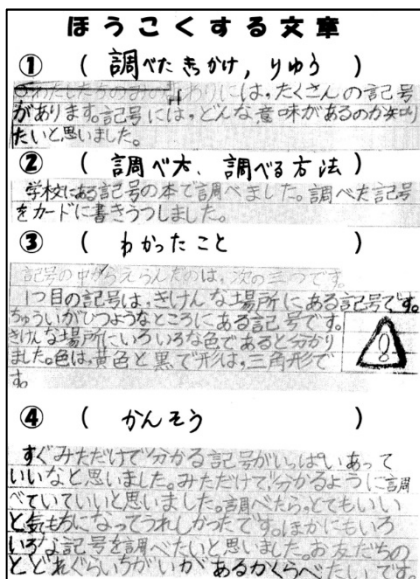
ファイルに、指導事項に関するカードを蓄積した例です。「わざノート」として、各自手元に置くと、必要に応じて見返すことができます。異なる領域でも活用できるので、便利です。



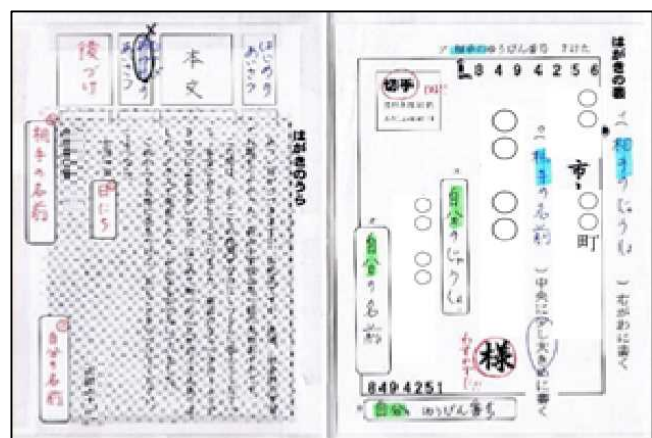
ファイル



指導事項について、児童から
出た言葉を基に記入



模範的な児童の作品を
コピーして貼付



教科書のモデル文や
教師自作のモデル文を貼付